



もみじ組 くれよん



もみじ組で過ごす時間も残りあと1ヶ月になってきました。進級の日まで、楽しく健康に過ごしていけるよう見守っていきたいと思います。

近頃のもみじ組は、少しずつ園でも気持ちを言葉や仕草で伝えてくれるようになりました。具体的なエピソードを交えて下記でお話していこうと思います。

★言葉の理解★

日常生活の中で、一緒にお友だちの準備で待つ時など椅子で座って待っていてもらうことがあります。例えば、外に遊びに行く準備をする時に一緒に行くお友だちの支度をするのを座って待っていてくれます。食事の前に待ち椅子に座って名前を呼ぶまで待っていてもらいます。途中、待ち椅子から立ち上がることもありますが、「お椅子に座って待ってね」と伝えると戻って座り直してくれる時もあります。お友だちが使っているおもちゃを拾ってくれたので「〇〇ちゃんにどうぞしてきてね」と伝えるとそのお友だちのところに渡しに行ってくれます。「おしっこ出たね」と伝えると「うん」と答え、オムツを確認させてくれたりもします。毎日のやり取りで覚えていることもあると思いますが、成長に驚きを感じます。体の部位の理解も出来るようになりました。「目はどこ？足はどこ？」と聞くと指差して答えてくれるようになりました。



🌸言葉を発する🌸

大人の発する言葉を真似て少しずつ言葉を真似出来るようになりました。友だちと別れる時に「バイバイ」と言っている姿がよく見られるようになりました。動物の写真を指差して「わんわん」や「にゃーにゃー」と教えてくれます。ご飯を食べる際など、「まんま」と話をしてくれます。園では、壁に動物や季節の野菜や乗り物の写真などを貼り、子どもたちに写真を指差し言葉を伝えています。わらべうたなどの歌を通じて仕草などでも楽しく言葉を伝えています。



これからも、子どもたちにたくさん目を合わせ話しかけ言葉や仕草でのやり取りを楽しんで成長を見守っていきたくらいなと思っています。

